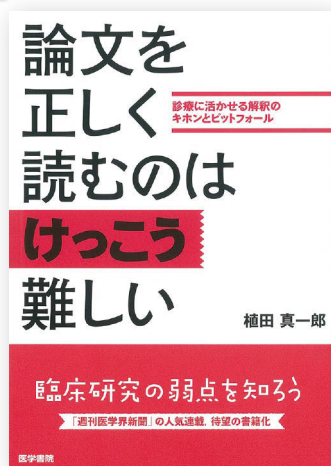


今月の特集関連本



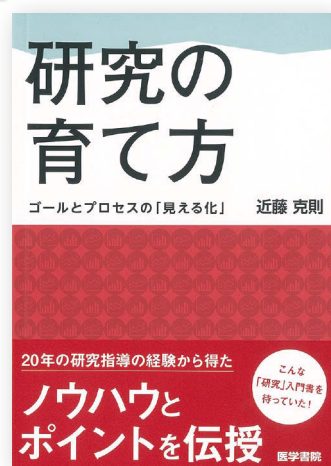
論文を正しく読むのはけっこう難しい

診療に活かせる解釈のキホンとピットフォール

植田真一郎＝著

本体 3,200 円＋税／A5 判・240 頁／医学書院／2018

RCT（ランダム化比較試験）には実に多くのバイアスや交絡因子が潜んでいる。「結果を出す」ために、それらはしばしば適切に処理されない、あるいは確信犯的に除去されない。一方で、臨床研究を行う際の規制は年々厳しさを増している。「臨床研究」の担い手として、実施する側のジレンマも熟知した著者が、それでもやっぱり見逃せない落とし穴を丁寧に解説。本書を読めば、研究結果を診療で上手に使いこなせるようになる！



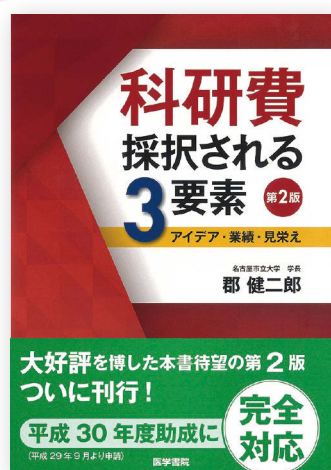
研究の育て方

ゴールとプロセスの「見える化」

近藤克則＝著

本体 2,500 円＋税／A5 判・272 頁／医学書院／2018

20年にわたる大学院での研究指導の経験から得た、研究のノウハウと指導のポイントをもとに、研究に関する考え方・進め方、論文の書き方など、「研究」の全体像を1冊にまとめた。臨床医や看護師、リハビリテーション専門職などの医療職が取り組む臨床研究や疫学研究における量的なデータ分析手法と、MSWや地域包括ケアに関わる福祉専門職が取り組む社会政策などの質的な分析手法や地域介入研究まで、多様な研究領域に共通する基本的な知識や考え方を紹介する。



科研費 採択される3要素

アイデア・業績・見栄え 第2版

郡健二郎＝著

本体 3,800 円＋税／B5 判・196 頁／医学書院／2017

驚異の採択件数を誇る教室のトップである著者が贈る、渾身の書の改訂第2版。初版で好評を博した構成を踏襲しつつ、2018年度助成分より大幅に変更となった科研費の新制度にしっかり対応した内容となっている。特に第2章「科研費の制度を知る」は最新の応募様式に沿った内容に大幅刷新。審査委員の心をグッとつかむコツが随所に散りばめられた待望の第2版、ここに堂々の刊行。



《ジェネラリスト BOOKS》

薬の上手な出し方 & やめ方

矢吹 拓＝編

本体 4,000 円＋税／A5 版・322 頁／医学書院／2020

本特集ご企画の矢吹先生 (p.509) 編集による最新刊。もう 1 人の企画者・青島周一先生 (p.509・553) も多数ご執筆。書き下ろしがメインですが、本誌連載「もやもや処方箋」(2018 年 4 月～2019 年 3 月) も掲載！

なんとなく出し続けていたこの薬、他科でもらっているあの薬、必要？ やめる？ 続ける？ 薬を入口に、総合医と薬剤師であれこれ話し合ってみました。「やめる根拠」と「続ける根拠」、「上手な処方」や「減薬」のヒント、自ずと薬の話にとどまらず「診療のコツ」がそこここ。専門医による「上手な処方指南」も。

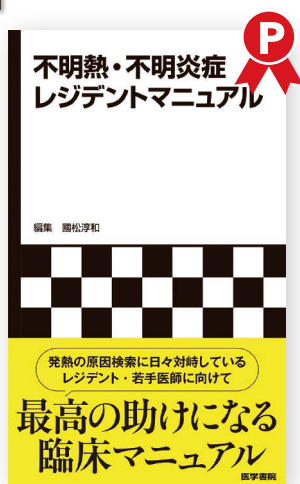
**医師アタマ**

医師と患者はなぜすれ違うのか？

尾藤誠司＝編

本体 2,200 円＋税／A5 判・220 頁／医学書院／2007

本特集ご執筆の尾藤先生 (p.528) 編集による“医師アタマ”をやわらかくする“激アツ本”。医師のなかでは当たり前の考え方も、患者には極端で奇天烈なものかもしれない。そう考えた 7 人のプライマリ・ケア医が、論理的に、evidence-based に、医師と医師以外の世界の違い、医師の思考過程の特殊性に迫る。「EBM が、本当に医療を受給する人にとって利益のあるものであるために」を模索した。

**不明熱・不明炎症レジデントマニュアル**

國松淳和＝編

本体 4,500 円＋税／B6 変判・498 頁／医学書院／2020

本特集ご執筆の國松先生 (p.543) による最新刊。臨床小説「後悔しない医者」(p.637) も先月号からスタート！

発熱の原因検索に日々対峙しているレジデントに向けて、最高の助けになる“レジマニ”。絶対に熱源を得ることを諦めない気概で日々診療を行っている執筆陣の考え方や実践を詰め込んだ。総論では、病歴聴取・身体診察・臨床検査の基本を押さえる。各論では、「不明熱にしてはいけない疾患」「“不明熱的”と認識したあとの初動～次の 1 週間で何をするか」「入院患者のよくわからない発熱(感染性/非感染性)」という切り口で解説。

本欄で紹介した書籍は、読者アンケート(p.612)にご回答いただいた方に、抽選でプレゼントいたします。



医療現場の行動経済学

すれ違う医者と患者

大竹文雄、平井 啓＝編著

本体 2,400 円＋税／四六判・316 頁／東洋経済新報社／2018

本特集ご執筆の平井先生 (p.564)の編著本。医療現場での「決められない」「先延ばし」はなぜ起こってしまうのか？ 健康・医療心理学、行動医学、サイコオンコロジー、行動経済学と幅広く修められた平井先生と、労働経済学、行動経済学が専門の大竹先生が、行動経済学を用いて理論的背景とその解決策を示す。人間心理のクセがわかれば、溝は埋められる！

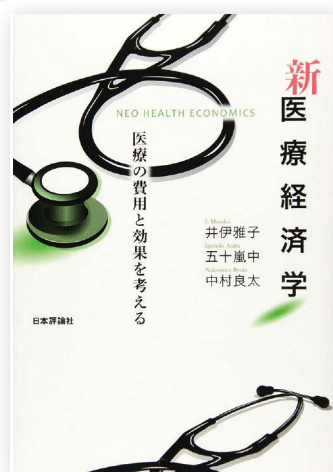


「薬剤経済」わかりません!!

五十嵐 中、佐條麻里＝著

本体 2,000 円＋税／B5 判・256 頁／東京図書／2014

本特集ご執筆の五十嵐先生 (p.567) が医療経済をわかりやすく紐解いた。近年急速に注目される薬剤の「費用対効果」分野のデータを初学者向けに概説。QALY を使った ICER の計算法、QOL の測り方や、感度分析を紹介。こうしたデータの読み解きから経済評価をどう利用するかまで、流れが1冊にまとまってわかりやすい。『「医療統計」わかりません!!』(東京図書、2014)も併せて読みたい。



新医療経済学

医療の費用と効果を考える

井伊雅子、五十嵐 中、中村良太＝著

本体 2,300 円＋税／四六判・256 頁／東洋経済新報社／2019

超高齢化、医療の高度化・高額化が進み、医療費が年々増大している。財源には限りがあり、その最適化は喫緊の課題だ。医療や介護サービスを切り捨てたり、質を下げたりするのではなく、より効率的・効果的に提供するには？ 医療にまつわる意思決定や政策決定の際、「エビデンス」をどう使う？ 医療や介護の費用対効果について解説する。本特集ご執筆の五十嵐先生 (p.567) が、薬の費用対効果を中心に分担執筆した。

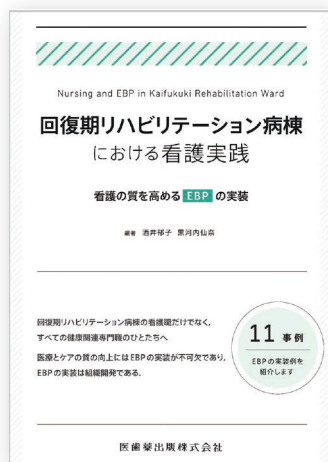


急に具合が悪くなる

宮野真生子、磯野真穂＝著

本体 1,600 円＋税／四六判・256 頁／晶文社／2019

本特集ご執筆の文化人類学者・磯野真穂先生 (p.577) が、がんの転移を経験しながら生き抜いた哲学者・宮野真生子先生と、死と生、別れと出会いを巡り、20 年の学問キャリアと互いの人生を賭けて交わした 20 通の往復書簡。もし、あなたが重病にかかり、残りわずかの命と言われたら、どのように死と向き合い、人生を歩みますか？ もし、あなたが死に向き合う人と出会ったら、あなたはそこの人と何を語り、どんな関係を築きますか？ きっとあなたは「患者の体験」を知らないでいる。実は医師こそ読むべき 1 冊。



回復期リハビリテーション病棟における看護実践

看護の質を高める EBP の実装

酒井郁子、黒河内仙奈＝編著

本体 4,200 円＋税／B5 判・252 頁／医歯薬出版／2019

本特集ご執筆の酒井先生 (p.581) が取り組む EBP (evidence-based practice) の、回復期リハ病棟での看護に実装することで、医療とケアの質の向上と可視化を図る 1 冊。I～IV の理論編で、回復期リハビリテーションと EBP、回復期リハ看護の特質、回復期リハ病棟のマネジメント、回復期リハビリテーションのケアを改善するための知識とスキルを紹介し、V の実践編に、「生活リズムの調整」など EBP 実装に必要な 11 事例を収載する。すべての健康関連専門職の必携書！



ケアの本質

生きることの意味

ミルトン・メイヤーロフ＝著

田村 真、向野宣之＝訳

本体 1,500 円＋税／B6 判・236 頁／ゆみる出版／1987

本特集ご執筆の酒井郁子先生のオススメ参考図書 (p.584) の 1 つ。メイヤーロフは、医療職ではなく哲学者で、「ケアリング」の先駆的研究者である。そのケアリング論は、看護にとどまらず、すべての対人援助に示唆を与える。メイヤーロフは、「自分以外の人格をケアするには？」と問う。ケアをするうえで欠かせない、「共感的理解」に迫る名著。